

首都圏における広域防災拠点ネットワーク形成について

1. 広域防災拠点の必要性

- (1) 被災地外からの救援物資の荷さばき・中継を行う必要
 - ← 直接、避難所へ搬入すると現場は大混乱
 - (2) 被災地外からの応援部隊のベースキャンプが必要
 - ← 自衛隊や消防・警察、ボランティア等の宿営地が圧倒的に不足
- ➡ これらの広域防災拠点がネットワークとして機能

2. ネットワーク整備の考え方 ⇒ 下図

- 特に枢要な都市機能が集中する都心部
- 稠密な市街地が広がるエリアの外側 = 外環沿いに配置
- 放射状道路や舟運輸送が可能な主要河川と外環との結節点
- 全国や世界からの受入れ拠点となる主要空港や臨海部

3. その他広域輸送拠点のリストアップ

公園やスタジアム等避難場所に指定されていないオープンスペース(241箇所)をリストアップ

